

令和8年4月27日

大分県小学生バドミントン連盟
登録クラブ関係者 各位

大分県小学生バドミントン連盟
理事長 高木 康之

主審サポートの配置について

日頃より、当連盟が行います事業等に対しまして、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、令和7年度当連盟が運営した大会におきまして、大会当日の監督会議で注意喚起しているにも関わらず、審判を行っている選手に対して、コーチング席にいる大人（審判資格者）の不適切な言動・行動によるトラブルが発生しています。このため、試合が一時中断され、審判を行った選手が動揺し、アフターケアを必要とする事例も発生しています。

つきましては、第一に選手を守る観点から、各コートに大人を1名配置して、トラブル発生時の対応・抑止等に努めることとします。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、主審サポートの役割につきましては、下記のとおりとします。

記

1 主審サポートが行うこと（速やかに本部に伝える）

- ① トラブルや事故が発生した場合
- ② 主審が選手からの質問に対応出来ず、試合が中断した場合
- ③ 審判のよそ見やルール知識不足によりゲーム進行に支障をきたしている場合
- ④ コーチング席や観客席からジャッジに影響を与えるような威圧的な行動・言動があった場合

（例）・ラリー中に「イン・アウト」等の発声

- ・ジャッジする前に「アウト、ラッキー」等、大声での発声
- ・ジャッジに対して不服があった際の睨みつけや罵声

2 主審サポートが行わないこと

- ① イン、アウト等のジャッジの関与
- ② 選手やコーチング席からの質問に対する対応

3 クラブ内の審判資格取得者につきましては、主審サポート配置予定の者に対しまして、大会までに最低限の審判ルールの説明をお願いいたします。

以上